



平成29年8月29日

NIKOKU

PRESS RELEASE

本紙投げ込みを以て解禁

記者発表資料
新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ



た か は ま い り ぐ ち

高浜入口交差点の急ブレーキが約5割減少しました！

国道7号新発田市島潟の高浜入口交差点は、村上市方面からの左折車の減速に伴う追突事故等が多発していました。

このため、新潟国道事務所では道路利用者の安全確保のために、上り車線に左折レーンを設置し直進車と左折車を分離する対策を実施し、平成29年3月15日より供用開始しました。

この度、対策前後の交通状況の変化について対策効果を検証しましたのでお知らせします。今後も引き続き対策効果の検証を行っていきます。

※詳細は別紙を参照して下さい。

対策効果

- 高浜入口交差点上り方向の急ブレーキ発生率が約3割減少し、特に、交差点から40m手前までの区間では約5割減少しました。
→ 左折レーン設置により、左折車両の減速による後続車両の急ブレーキの危険挙動が減少したと考えられます。
- 新潟市方面へ向かう上り方向の渋滞が解消しました。
→ 左折レーン設置により、交通が円滑化したと考えられます。



お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所

管理第二課長 伊藤 勝美 (内線441)

電話 025-244-2159 (代表) FAX 025-246-7744

新潟国道事務所

〒950-0912 新潟市中央区南笹口2-1-65

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>



にいく

検索

かわら版「にいくひろば」はじめました！
ホームページトップのバナーから



国土交通省北陸地方整備局

国道7号 高浜入口交差点左折レーン設置 対策効果分析

(別紙)

分析方法

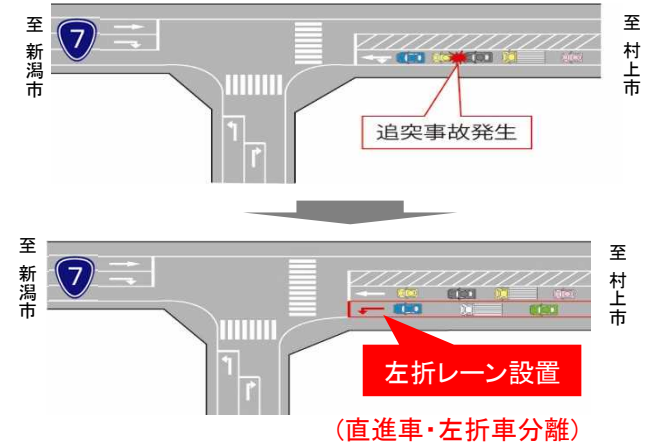
ETC2.0プローブデータ(カーナビ等から得られる走行履歴や挙動履歴データ)および現地の交通実態調査結果より、村上市方面から高浜入口交差点に流入する車両の急ブレーキ発生率^{*}と渋滞長について対策前後で比較し、対策効果を検証しました。

^{*} 前後加速度が-0.25G以下の挙動発生件数÷設置区間通過トリップ数

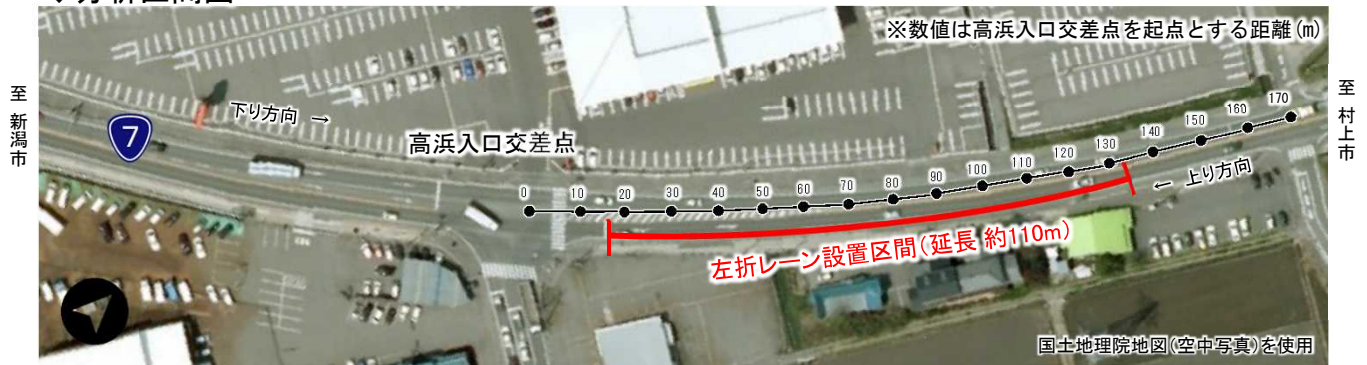
◆位置図



◆対策イメージ

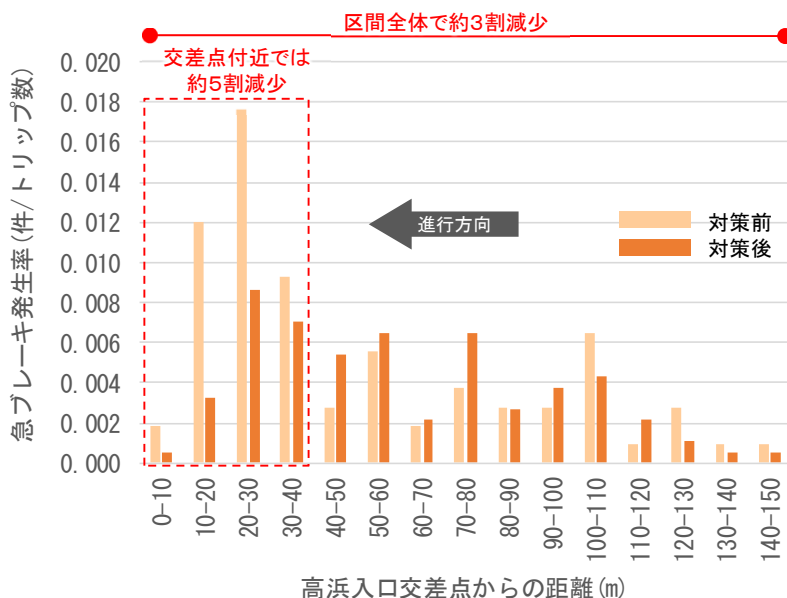


◆分析区間図



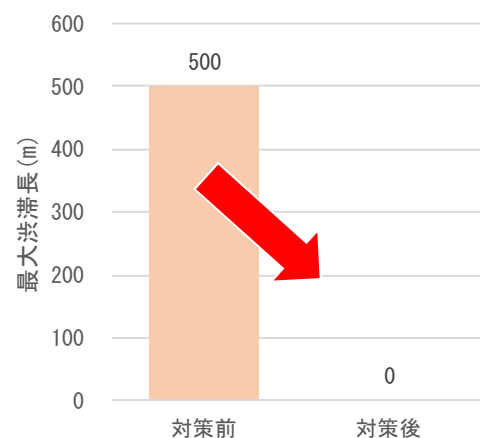
◆急ブレーキ発生率

対策後、新潟市方面へ向かう車両の急ブレーキ発生率が約3割減少。特に交差点から40mの区間では約5割減少



◆渋滞長

対策後、新潟市方面へ向かう方向の渋滞が解消 (最大渋滞長500m→0m)



調査日
 対策前：平成25年7月 2日(火)7:00~9:00
 対策後：平成29年7月27日(木)7:00~9:00

資料：ETC2.0プローブデータ
 対策前：平成28年5月 (1,079トリップ)
 対策後：平成29年5月 (1,853トリップ)